

第5回 Web グランプリ 浅川賞、スチューデント賞、審査委員特別貢献賞を発表！

417社が加盟（2017年11月末現在）する公益社団法人日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会（所在地：東京都中央区銀座 代表幹事：田中 滋子）は、第5回 Web グランプリ（<http://award.wab.ne.jp/>）「企業グランプリ」部門の「浅川賞」「スチューデント賞」「審査委員特別貢献賞」の各受賞サイトを決定いたしました。

グランプリ受賞サイト

| 賞名 | サイト名 | 会社名 |
|----------|-------------|-------------------|
| 浅川賞 | 日本財団公式サイト | 日本財団 |
| スチューデント賞 | 響きあう、活動のすべて | サントリーホールディングス株式会社 |

審査委員特別貢献賞

| | | |
|----------|------------|-------------------|
| 高畑 正弘 氏 | 株式会社アーキタイプ | ※参加企業：岩崎電気株式会社 |
| 足立 邦登 氏 | 株式会社コンセント | ※参加企業：日本財団 |
| 原田 香澄 氏 | 株式会社コンセント | ※参加企業：日本財団 |
| 北河 広視 氏 | 日本特殊陶業株式会社 | |
| 遠藤 みすず 氏 | 株式会社フォーサイト | |
| 鈴木 奈都子 氏 | 株式会社 國奥事務所 | ※参加企業：雪印メグミルク株式会社 |

【第5回 Web グランプリ贈賞式開催概要】

- 日時 2017年12月7日（木） 贈賞式 15:30-16:50
 贈賞パーティ 17:00-19:00
- 場所：八芳園 東京都港区白金1-1-1 <http://www.happo-en.com/access/index.html>
- 参加申込は下記よりご覧ください（贈賞式参加は無料）
https://www.wab.ne.jp/wab_sites/general-event/view/2695

【お問合せ先】

公益社団法人日本アドバイザーズ協会 Web 広告研究会 Web グランプリ事務局
 受付時間：10:00～17:00＜平日のみ＞ TEL：03-3543-5855 e-mail：award-info@wab.ne.jp
 お問合せフォーム：<https://award.wab.ne.jp/inquiry/>
 ＜平日のみ＞ TEL：03-3543-5855 e-mail：award-info@wab.ne.jp

企業グランプリ部門「浅川賞」受賞サイト

IBM フェロー浅川智恵子氏にちなみ、Web アクセシビリティの重要性を広く認知してもらう活動の一環として2010年に創設された賞です。企業サイトのアクセシビリティ対応が進みつつあること、およびスマートフォンの普及などに伴い、音声でのWebアクセスが広まりつつあることを踏まえ、2017年度からは「音声出力だけで情報の取得が楽しめるかどうか、わくわくできるかどうか」という音声ユーザビリティに着目した審査に重点が置かれました。なお、審査は音声アクセスのプロフェッショナルである視覚障害者と、Web アクセシビリティの専門家による合議で行われます。

企業グランプリ部門 浅川賞

グ
ラ
ン
プ
リ

日本財団公式サイト

日本財団

<http://www.nippon-foundation.or.jp/>



浅川 智恵子氏プロフィール

工学博士、IBM フェロー

1985年、日本IBM入社。IBM東京基礎研究所にて情報アクセシビリティ技術の研究開発に従事。

1997年、世界で初めての実用的な視覚障がい者向けインターネット専用音声ブラウザ「ホームページ・リーダー」を開発。当技術は、その後世界11ヶ国語で製品化され、世界の視覚障がい者の情報アクセス手段を格段に向上させるきっかけとなった。

2004年には、Web製作者のためのアクセシビリティ評価ツールaDesignerを開発し、無償公開した。

2008年からは視覚障がい者とボランティアが共同してWebアクセシビリティを改善するソーシャル・アクセシビリティ・プロジェクトを展開。

その後、高齢者、発展途上国の非識字者の情報アクセス障壁を低くすることを目指すオープンな共通ユーザー・インターフェース基盤の共同研究などに取り組む。2014年秋よりIBMフェロー兼カーネギーメロン大学客員教授として米国に赴任、視覚障がい者に現実世界への新たなアクセシビリティをもたらすことを目指すコグニティブ・アシスタンスと呼ばれる研究開発に取り組む。



- 2003年 Women In Technology International が選定する女性技術者の殿堂入り
- 2005年 第3回 Web クリエーション・アワード「Web人アワード」
- 2009年 音声ブラウザの開発とWebアクセシビリティ技術普及への貢献が評価され、情報処理学会喜安記念業績賞受賞
- 2010年 企業Webグランプリでアクセシビリティ部門「浅川賞」が創設される。
Webアクセシビリティの研究、技術の進歩への貢献が評価されSWEアチーブメント賞受賞
(The Society of Women Engineers)。
- 2011年 テクノロジーへの顕著な貢献をした女性に与えられる Women of Vision Award 受賞(Anita Borg Institute)
平成23年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)受賞
- 2012年 視覚障がい者の文化向上に貢献した個人、団体に贈られる本間一夫文化賞受賞(社会福祉法人 日本点字図書館)
- 2013年 紫綬褒章受章
- 2015年 先駆的な活動を展開し、現代社会に顕著な影響を与えた女性に贈られる津田梅子賞受賞(津田塾大学)

企業グランプリ部門「スチューデント賞」受賞サイト

領域、分野を問わず企業が制作・運用しているサイトを、生まれた時からインターネットやパソコンのある生活環境の中で育ってきた世代（中高生）が使いやすいかどうか、というポイントで評価し、選出されます。本年度は慶応義塾湘南藤沢中等部・高等部の皆さんが選考委員となり、審査を行いました。スチューデント賞の選考方法は、9つの項目により審査を行い、項目ごとにポイント化した上で選出を行っています。

企業グランプリ部門 スチューデント賞

グ
ラ
ン
プ
リ

響きあう、活動のすべて

サントリーホールディングス株式会社

<http://www.suntory.co.jp/company/hitotoshizen/>



企業グランプリ部門「審査委員特別貢献賞」受賞者

Webグランプリは、各参加企業同士がお互いに審査を行うことによって受賞企業が決定する、相互審査方式を取り入れています。各参加企業が登録した審査委員がそれぞれのサイトについて良かった点と悪かった点を記入し、参加企業にフィードバックを行っています。この審査コメントこそが、今後の企業のWebサイトの向上にもつながる非常に重要なプロの声であると同時に、Webグランプリの大きな特徴の1つとなっています。「審査委員特別貢献賞」は、この相互審査の過程において非常に真摯に審査を行い、参加企業にとって有益となるコメントをした審査委員に対して送られます。本年は6名が審査委員特別貢献賞を受賞しました。

審査委員特別貢献賞

| 氏名 | 社名 |
|----------|------------------------------|
| 高畑 正弘 氏 | 株式会社アーキタイプ ※参加企業：岩崎電気株式会社 |
| 足立 邦登 氏 | 株式会社コンセント ※参加企業：日本財団 |
| 原田 香澄 氏 | 株式会社コンセント ※参加企業：日本財団 |
| 北河 広視 氏 | 日本特殊陶業株式会社 |
| 遠藤 みすず 氏 | 株式会社フォーサイト |
| 鈴木 奈都子 氏 | 株式会社 國奥事務所 ※参加企業：雪印メグミルク株式会社 |

Web グランプリとは

Web グランプリとは、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰するために設立されました。

過去 11 回開催し、これまで多くの「Web 人（ウェブジン）」を輩出してきた Web クリエーション・アワード（Web 広告研究会主催）と、過去 6 回開催し日

本の企業ウェブサイトの発展に寄与してきた企業ウェブ・グランプリ（企業ウェブ・グランプリ主催）を統合し、2013 年を第 1 回として開催いたしました。今年が第 5 回となります。

インターネットがすみずみまで行き渡った現在、Web サイトは社会にとって欠かすことのできないメディアになりました。特に、ソーシャルネットワークが大きな影響力を持つ昨今では、さまざまな情報のソースとしても Web サイトの重要性がいっそう高まっており、多くの方々がその運営に地道な努力を捧げています。

この「Web グランプリ」は、Web サイトの健全な発展をめざすとともに、【Web 関係者の、Web 関係者による、Web 関係者のための賞】として優れた功績を残した企業および人物を顕彰し、その労と成果を讃えることを趣旨としています。

表彰部門は大きく 2 つ「Web 人部門」と「企業グランプリ部門」に分かれています。

「Web 人部門」はこれまでの Web クリエーション・アワードに相当し、Web 社会の発展に貢献してきた「人」に授与されます。「企業グランプリ部門」はこれまでの企業ウェブ・グランプリに相当し、各企業のウェブ担当者同士の研鑽により制作・構築された、見本とすべき「ウェブサイト」に授与されます。



Web 広告研究会について

Web 広告研究会は、1999 年 4 月、(社) 日本広告主協会デジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました。(注：日本広告主協会は現在、日本アドバタイザーズ協会に名称変更) 業界の枠を超えて Web 広告・マーケティングに取り組む全てのプレイヤーによる研究活動を行う場として、インターネット上の広告展開における様々な課題について、広告主と関連企業・団体（広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など）が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。

定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を 11 の委員会と 4 つのプロジェクトで行っております。

構成は以下のとおり

<委員会>

- ・コーポレートブランド委員会
- ・モバイル委員会
- ・メディア委員会
- ・ネット・プロモーション委員会
- ・ソーシャルメディア委員会
- ・イノベーション委員会
- ・調査委員会
- ・サイトマネジメント委員会
- ・West Web マーケティング委員会
- ・Big Data 研究委員会
- ・動画活用委員会

<プロジェクト>

- ・Web グランプリプロジェクト
- ・Web 人材育成プロジェクト
- ・東日本大震災・被災地支援プロジェクト
- ・PR プロジェクト

- 会員社 417 社 (2017 年 11 月 30 日現在)
- 代表幹事 田中 滋子 (NEC)
- 所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-7 ヒューリック銀座 3 丁目ビル 8 階
- Web <http://www.wab.ne.jp/>